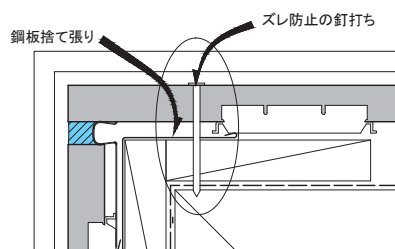


1-23 各部の基本納まり図

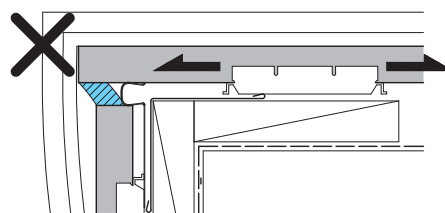
6) 出隅部

⑤カバー出隅

- 防水のため必ず鋼板を捨て張りします。
- カバー出隅はモエン本体にビス留めします。
- 金具施工にカバー出隅を用いる場合、勝ち側のモエンの端部を釘打ちしてください。(幅方向3本留め)
(金具施工は、モエンが左右に動く場合、カバー出隅・シーリング目地などが破損するおそれがあります。)



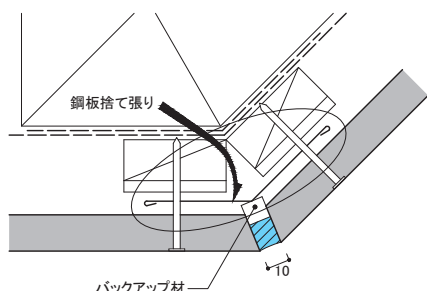
ズレ防止の釘打ちがない施工



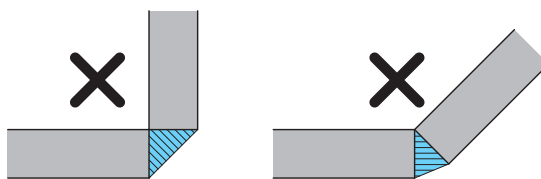
カバー出隅・シーリング目地などが変形し、不具合の原因となります。

⑥鈍角出隅

- 防水のため必ず鋼板を捨て張りします。
- 端部の突き付け施工、および三角シーリング施工は行わないでください。



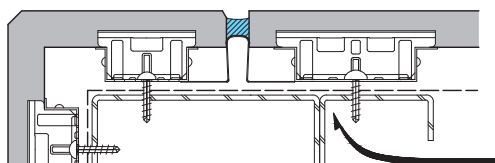
出隅の三角シーリング施工



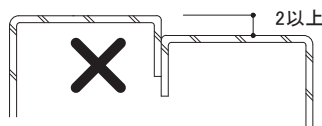
シーリングの接着不足・切れなど不具合の原因となります。

⑦鉄骨下地の不陸について

- 鉄骨下地の不陸に十分注意してください。(2mmを超える不陸には施工できません。)
- 鉄骨厚が3.2mm以上になると、ビスの留め付けに手間がかかり、施工精度にも影響します。



2mmを超える段差が発生した下地への施工



不陸によるゆがみが発生し不具合の原因となります。

7) 開口部 サッシの選定

- サッシは、モエンの厚み、施工方法、胴縁の厚みを考慮し、基本的にサイディング表面よりサッシ枠がでる外付けまたは半外付けタイプを使用します。
内付けタイプを使用する場合は、額縁や見切縁などを取り付け防水上適切に施工してください。適切されない場合、モエンの裏側に水がまわりやすく、雨漏り、凍害などの原因になります。
- サッシ枠から落ちた雨水がモエン表面を伝い、汚れ、モエンの機能低下をまねくおそれがあります。サッシ下枠の出はモエン表面より30mm以上あるものを選定してください。サッシの出が30mm以上確保できない場合は水切などを取り付け、出幅を確保してください。

